語歌文学館賞 贈賞式

詩部門

田中庸介
ぴんくの砂袋



短歌部門

^{ま垣澄幸} 鳥語降る



俳句部門

(本阿弥書店)

遠山陽子

遠山陽子 俳句集成

(素粒社)



正賞・鬼剣舞手彫り面

2022年5月28日(土)午後3時日本現代詩歌文学館講堂



主催 日本現代詩歌文学館振興会/公益財団法人 一ツ橋綜合財団 北上市/北上市教育委員会

後援 岩手県

日本現代詩歌文学館

〒024-8503 岩手県北上市本石町2-5-60 TEL 0197-65-1728 FAX 0197-64-3621 URL https://www.shiikabun.jp E-mail shiika@shiikabun.jp

記念講演

『みだれ髪』と『白桜集』を繋ぐもの

~晶子没後80年

講師松平盟子(歌人)



第37回 詩歌文学館賞 受賞者プロフィール



2021年1月 思潮社

田中庸介 たなか・ようすけ

1969年東京生れ。詩人、細胞生物 学者。東京大学医学部講師。89年「ユ リイカの新人 | としてデビュー。同年 詩誌『妃 kisaki』を創刊。既刊詩集 に『山が見える日に、』(1999年)、『ス ウィートな群青の夢』(2008年)、『モ ン・サン・ミシェルに行きたいな』 (2018年)。妻と二女。



2021年4月 本阿弥書店

志垣澄幸 しがき・すみゆき

1934年、台北市生まれ。戦後引揚て 宮崎に住む。宮崎大学学芸学部国語 科卒。前衛短歌の影響を受けつつ一 人で作歌。63年に個人誌『丸木舟』 を創刊。68年『原型』に入会。76 年には歌友らと現代短歌南の会を結 成、会誌『梁』を出す。歌集に『空 壜のある風景 |、『夏の記憶 |、『水撃 | など。



2021年11月 素粒社

遠山陽子 とおやま・ようこ

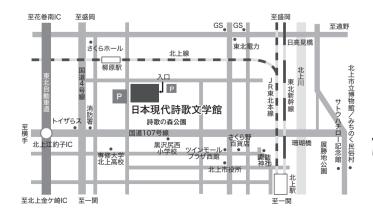
1932年11月7日、東京市淀橋区生れ。 57年より『馬醉木』『鶴』を経て『鷹』 創刊に参加、31年間在籍。78年、三 橋 敏 雄 指 導 句 会 「春 霜」(の ち に 「檣」)に参加。機関誌『檣』を編集。 2001年末三橋敏雄逝去により「檣」 解散。03年初頭、個人誌『弦』創刊、 「評伝 三橋敏雄」を執筆連載。受賞 は「茨城文学賞」「六人の会賞」「現代 俳句協会賞」「桂信子賞」など。毎日 新聞東京版「文園」選者。

記念講演

『みだれ髪』と『白桜集』を繋ぐもの~晶子没後80年

●講師 松平盟子(歌人)

1954年、愛知県生まれ。76年『コスモス』に入会。77年「帆を張る父のや うに」で角川短歌賞受賞。93年『プチ★モンド』創刊主宰。歌集『帆を張る 父のやうに』 『シュガー』 『プラチナ・ブルース』 (河野愛子賞) 『カフェの木 椅子が軋むまま』『愛の方舟』など。与謝野晶子研究に取り組み、98年に はその足跡を調査するためにパリ第7大学に留学。明星研究会に所属。



選考委員







伊藤比呂美 小池昌代 佐々木幹郎

加藤治郎 吉川宏志 米川千嘉子

西村和子 三村純也 渡辺誠一郎

*第13期 第37回~第39回(2022-24)

交通のご案内

北上江釣子ICから/ 国道107号線を釜石方向へ東進約2.5Km JR北上駅 から/ ●タクシー:約6分

- | バス(岩手県交通):駅西口乗場より乗車、 まちなかターミナル下車徒歩約7分
- ●JR乗換: 北上線横手行(本数僅少)、 柳原駅下車徒歩約3分

弋詩歌文学館

〒024-8503 岩手県北上市本石町2-5-60 TEL 0197-65-1728 FAX 0197-64-3621 URL https://www.shiikabun.jp E-mail shiika@shiikabun.jp